

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月13日

計画の名称	連続立体交差事業による交通渋滞・踏切事故及び市街地分断の解消（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	長崎県												
計画の目標	鉄道の連続立体化により4箇所の踏切を除却し、道路交通の円滑化を図るとともに、東西一体型の市街地再整備により長崎再生を目指すものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	18,859	A	18,859	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	H33末
1	踏切遮断時間の解消			
	1日あたりの踏切遮断時間の減少	23h / 日	0h / 日	0h / 日
	1日あたり踏切遮断時間 = 除却対象踏切の1日あたり遮断時間（H29.9調べ）			
2	東西の市街地を往来する自転車歩行者数の増加			
	東西の市街地を往来する1日あたりの自転車歩行者数の増加	11340人 / 日	12640人 / 日	12987人 / 日
	往来する1日あたり自転車歩行者数 = 除却対象踏切 + 稲佐立体交差の1日あたり自転車歩行者数（H29.9調べ）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
長崎県土木部にて、事後評価を実施。	社会資本総合整備計画終了後
	公表の方法
	長崎県ホームページにて記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「1日あたりの踏切遮断時間の減少」については、効果が発現している。 ・「東西の市街地を往来する1日あたりの自転車歩行者数の増加」については、新型コロナウイルスの感染拡大により、自転車歩行者数は減少しているが、今後は増加していくものと想定される。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	該当なし
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	0h / 日
	最終実績値	0h / 日
2	最終目標値	12987人 / 日
	最終実績値	9514人 / 日
		新型コロナウイルスの感染拡大による歩行者数の減少が考えられる。